

みんなのた場

サークル仲間¹⁵⁹

羊毛サークル 「ものうウール」

温か天然素材で交流つむぐ

羊毛サークル「ものうウール」は、桃生町内で育てられている羊の毛をつむぎ、草木染めして、手編みの作品作りに取り組んでいます。

メンバーは30〜70代までの女性が20人ほど。桃生町太田袖沢にある築70年余りの古民家で、毎月第2土、日曜を例会の日として活動しています。周りは牧場になっていて、羊が十数頭。毎年のゴールデンウィークごろには自分たちで毛刈りも行っています。刈った羊毛は洗って汚れを落として乾燥させ、い

つでも使えるようにしています。

乾かした毛は手回しの器具で流れをそろえ、つむぎ車を使って毛糸にしています。染料も藍やクルミ、ウメノキゴケ、アカネ、サフラン、紅茶など天然素材です。こうしたできた毛糸のほか、帽子やマフラー、手袋を手編みして、イベントなどで販売しています。売り上げは分配し、メンバーのちよつとした小遣いになっているそうです。

古民家は例会の日以外にも

いつでも出入りできるようにし、メンバーが自主トレーニングに励みます。東松島市から通って3年ほどの千葉友子さんは「自然の物を紡いで一本の糸になるのが感慨深いです」と魅力を話します。

同じ日に通い始めた住吉町の根本祐子さんは「羊毛のことだけでなく、そのほかの趣味の話、夫のぐちを言いながら、年代を超えて交流しています」と楽しそうです。

始まりは、東日本大震災の年に復興支援の講習会に開いた羊毛作家とのつながりから。それを受講し、羊を飼っていた代表の今野美江子さんが仲間を募り、翌年にサークルを立ち上げました。それから口コミでメンバーは増えていきました。今野さんは「羊毛は天然の繊維で温かく、蒸れないのが特徴。編み物に興味がある人が多いようです」と温かく仲間を迎えています。



手編みの帽子をかぶるメンバー



古民家で糸をつむいでいます

きらり★まきっこ¹³

目指すは東北大会優勝

すがい りしゅう
菅井 理秀さん(渡波小4年生)

「アクロバットな動きがかっこいいぞ」と、父に勧められ、6歳から躰道を習い始めました。蹴りが得意で、特に回転しながら行う技に自信があります。今は一対一の「実戦」競技より、技の正しさや美しさなどを競う「法形」競技の方が良い成績を残せています。どちらの競技も「もっと強くなりたい、練習を頑張ろう」という気持ちになります。

去年の夏は初めて全国大会に出場しました。1回戦で負けてしまいましたが、強い選手が集まる会場の緊張感を味わうことができました。

所属する協会には、全国大会で優勝した強い先輩たちがいて、いろんな技をやるところがかっこいいです。僕も試合で勝つ強い選手になりたいです。東北大会優勝を目指して、躰道を楽しみながら続けていきたいと思っています。



市報いしのまき 第320号 令和7年4月1日発行

発行 石巻市総務部秘書広報課 ☎0225-95-1111 FAX23-4340
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

編集/制作 (株)石巻日日新聞社

古紙パルプ配合の再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙としてリサイクルできます。「ざつがみ類」として分別してください。

住民基本台帳による石巻市の人口と世帯数(前年比)			
令和7年2月末現在	人 口	132,069人	(▲2,186)
	世帯数	62,459世帯	(102)